【岡山河川事務所からのお知らせ】

平成30年7月豪雨により被害を受けた河川施設の本格復旧に着手、欠損及び漏水等が発生した河川施設を復旧します。

平成30年7月豪雨により被災し、緊急的に復旧している国管理河川施設の本格復旧に要す予算が閣議決定されたことから、本格復旧に 着手します。

- ·直轄河川災害復旧事業費 吉井川、旭川、高梁川(高梁川、小田川)
- ·直轄河川災害関連緊急事業費 吉井川、高梁川(高梁川、小田川)
- ·河川大規模災害関連事業費 高梁川(小田川)
- ※ 各河川での対策の概要については、別紙をご参照下さい。

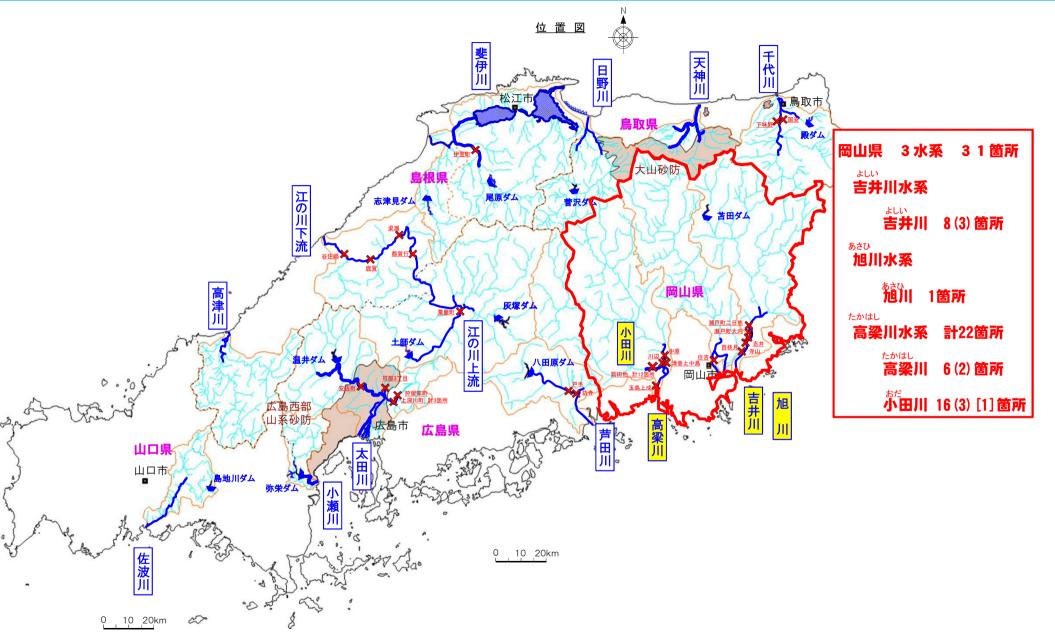
平成30年7月豪雨により大きな被害を受けた小田川等で、国及び岡山県が緊急的な治水対策『真備緊急治水対策』を実施します。

平成30年7月豪雨により高梁川水系小田川沿川の岡山県真備町では,堤防の決壊や越水等により甚大な被害を受けました。 再度災害防止を図るために小田川等において,予備費等を活用して,今年度から,国・岡山県が連携して,『真備緊急治水対策』を実施します。

- 現在進めている,小田川の水位を抜本的に引き下げる小田川合流点付替え事業の完成を前倒しし,小田川及び岡山県管理の末政川, 高馬川,真谷川において重点的な堤防整備(嵩上げ,断面拡大),洪水時の水位を下げるための河道掘削などのハード対策を河川激甚 災害対策特別緊急事業として概ね5年間の 2023 年度を目標に実施します。
- 河川激甚災害対策特別緊急事業の他,河川大規模関連事業費をはじめとする,災害復旧費による本格復旧についても合わせて実施します。
- 今後,これらのハード対策のほか,『高梁川水系大規模氾濫時の減災対策協議会』において,関係機関が連携して,ソフト対策を追加していきます。

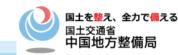
平成30年7月豪雨にかかる 直轄河川管理施設の災害復旧





- ※()内は、直轄河川災害関連緊急事業分で内数。
- ※[]内は、河川大規模災害関連緊急事業分で内数。

吉井川水系 吉井川 災害復旧事業

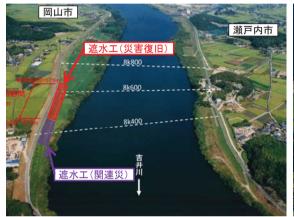


よしい よしい

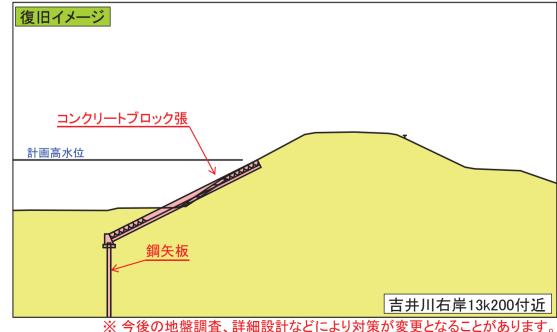
- ■吉井川水系吉井川では、平成30年7月豪雨により、漏水が発生。
- ■直轄河川災害復旧事業により、漏水箇所に鋼矢板などによる遮水工を実施するとともに、直轄河川災害関連緊急事業(関連災)により、同様の地形、地盤が連続する区間においても同様に漏水を防止する対策を実施。



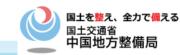
〇災害復旧、関連災





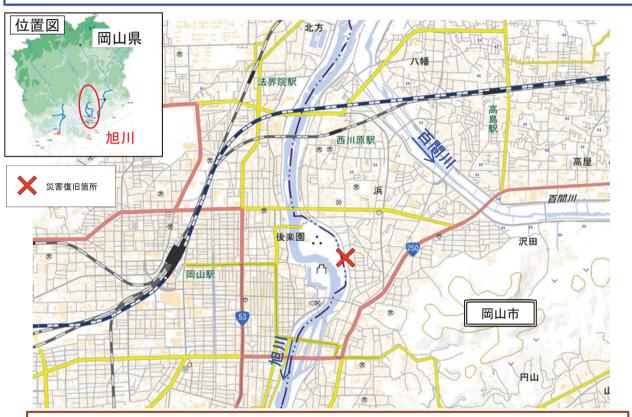


旭川水系 旭川 災害復旧事業



あさひ あ

- ■旭川水系旭川では、平成30年7月豪雨により、低水護岸の損壊が発生。
- ■直轄河川災害復旧事業により被災した低水護岸の復旧を実施。



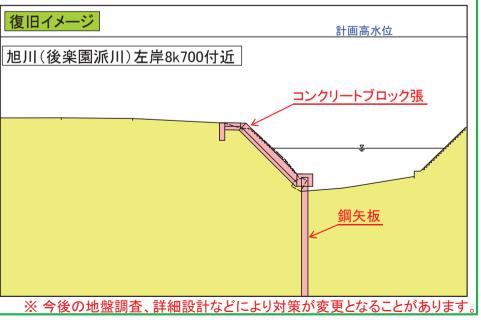
〇旭川被災状況





〇災害復旧





高梁川水系 高梁川 災害復旧事業

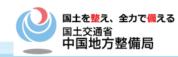


たかはし たかり

- ■高梁川水系高梁川では、平成30年7月豪雨により、低水護岸の損壊や漏水が発生。
- ■直轄河川災害復旧事業により被災した低水護岸の復旧や漏水箇所の遮水工を実施するとともに、直轄河川災害 関連緊急事業(関連災)により、同様の地形、地盤が連続する区間においても同様に漏水を防止する対策を実施。



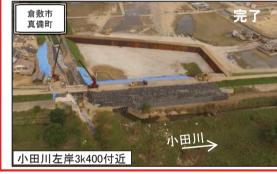
高梁川水系 小田川 災害復旧事業



- ■高梁川水系小田川では、平成30年7月豪雨により、堤防が決壊し、倉敷市真備町で大規模な浸水が発生。
- ■堤防決壊箇所は直ちに「緊急復旧工事」に着手し、7月21日に完了。
- ■直轄河川災害復旧事業により被災した堤防等を復旧するとともに、直轄河川災害関連緊急事業(関連災)により 側帯盛土を行い、堤防の強化を図るとともに、河川大規模災害関連事業(大規模関連災)により河道掘削を行い、 再度災害の防止を図る。



〇緊急復旧工事





〇小田川被災状況













真備緊急治水対策



- ○今後、これらのハード対策のほか、平成28年8月に国、岡山県、倉敷市などの隣接市町で水防災意識社会の再構築を目的に立ち上げた「高梁川水系大規模氾濫時 の減災対策協議会」において、関係機関が連携しソフト対策を追加。

